

中野区

中野区では、東日本大震災の翌年から12年にわたり「なかの東北絆まつり」を開催しております。

「なかの東北絆まつり」は、継続的な復興支援や東北各県を応援していくという趣旨を引継ぎ、東北各県の特産品・グルメ品の販売や観光・文化などの魅力の発信をしており、この事業の実施にあたり助成金を活用しています。

また、「なかの里・まち連携事業」として、福島県喜多方市、茨城県常陸太田市、群馬県みなかみ町、千葉県館山市、山梨県甲州市の5自治体と連携し、双方の強みを生かし合うことでともに持続的な発展を目指し、経済交流や観光・体験交流に取り組んでいます。物産展やオリジナルブランド商品の開発を通じた経済交流、また都市部では日頃経験できない里での体験や環境交流ツアーを企画・実施しています。



喜多方市消費者モニターツアー
(りんごの収穫体験)



甲州市・中野
酒販協同組合との
コラボ商品販促



なかの東北絆まつり



喜多方市・常陸太田市・みなかみ町・
館山市の新米を使用した
区役所食堂での新米フェア



なかの里・まち連携自治体が集結！
物産展の様子

上記事業の 連携自治体

青森県(青森市、黒石市、田子町)、岩手県盛岡市、宮城県仙台市、秋田県秋田市、
山形県山形市、福島県(福島市、喜多方市)茨城県常陸太田市、群馬県みなかみ町、
千葉県館山市、山梨県甲州市